

第1学年*組 (普通科)	国語科 学習指導案 (国語総合)		
平成*年*月*日 (*) 第*校時		場所**教室	指導者 教諭 岡田 広
育成する国語の能力	表現について考察したり交流したりして、考えを深めること		
単元名	詩歌との出会い 俳句		
単元目標	<p>○表現について考察したり交流したりして、考えを深めようとする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○表現について考察したり交流したりして、考えを深めることができる。 (書く能力)</p> <p>○国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解できる。 (知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1) のイ (ア))</p>		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
	俳句の表現について考察したり鑑賞文を交流したりして、考えを深めようとしている。	俳句の表現について考察したり鑑賞文を交流したりして、考えを深めている。	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。
取り上げる言語活動	俳句を作りクラス句会を開き、鑑賞文を交流する。		
題材 (教材)	俳句		
単元 (教材)について	<p>(1) 生徒観: 生徒は表現を重視した「書く」という行為が苦手である。テストにおいて本文の引用を中心とした記述は出来るものの、自分の言葉で表現することが困難である。特に言葉の表現に注目し深く考察することに課題がある。</p> <p>(2) 教材観: 俳句の魅力は、自分の感動を自分の言葉で表現する点にある。俳句は使う文字数も少なくリズム感があり、シンプルで誰にでも手軽に作ることができます。17文字という字数制限や季語の読み込みを通して日本語の表現について深く考察することが可能である。また、俳句の鑑賞文の交流を通して自己の考え方や表現を深めることができる。</p> <p>(3) 指導観: 自分の考え方や感動を俳句の17文字という制限の中でどう表現するか工夫させることで、表現に対する感性を育ませる。また、俳句の鑑賞文の交流を通して日本語の表現への考え方を深めさせる。</p>		
指導計画 (学習計画)	主な学習活動	主な評価	
	<p>1 俳句の形式や、季語などの表現について理解する。また、句会の開き方について理解する。</p> <p>教員が俳句を数句用意し、基本形式(五七五)や季節感のある語(季語)を生徒に発見させる。音読を通して俳句のリズムや間を楽しむとともに、その句に用いられた表現についてグループで考察を行う。</p> <p>2 俳句を二句作る。</p> <p>教員の提示した季語を用いて、自分の考え方や感動を俳句の17文字という限られたなかでどう表現するか工夫する。</p> <p>3 クラス句会を開く。</p> <p>選句を行いながら鑑賞文を書く。それをもとにグループ内で交流する。</p>	<p>○伝統的な言語文化である日本の俳句における季語の成り立ちや、表現の特色及び言語の役割などを理解している。 (知識・理解)</p> <p>○季語を適切に用いて五七五の基本形式を踏まえ、自分の考え方や感動を自分の言葉で表現しようとする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○俳句に用いられた季語や表現を敏感に感じ取り、それを考察し的確に鑑賞文を書いている。 (書く能力)</p>	

本時案（第3時）		
本時の目標	○俳句に用いられた季語や表現を敏感に感じ取り、それを考察し的確に鑑賞文を書いている。 （書く能力）	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
【生徒の立場】	○【指導者の立場】	
クラス句会を開く。そして俳句の鑑賞文を交流する。		
<p>(1) 【選句】 句稿に目を通して気に入った句を5句選ぶ。選句が済んだら選句用紙に選んだ句を番号順に清書して、披講者（読み上げ担当者）に渡す。</p> <p>(2) 【披講】 披講者が順番に、選句者名と選句を発表する。点数を正の字で集計して高得点の句を決め、成績発表を行う。</p> <p>(3) 【批評】 ①選んだ5句の中から1～3句について批評し、鑑賞文を書く。 ②自分が助言したいと思う俳句を1句選び、助言を書く。</p> <p>(4) 【交流】 鑑賞文を読み合い交流する。</p>	<p>○生徒は直感的に選ぶ場合もあるが、十分に句を鑑賞してから選ぶように助言する。5句に絞る時には声に出して読ませてから決定させる。（リズムの確認）</p> <p>○選句及び披講は、作者に敬意をもって行い、特に披講は大きな声でゆっくりと読ませる。</p> <p>○作品は作者そのものであるという意識をもたせ、批評する側も批評は創作であるという意識をもって鑑賞文を書かせる。</p>	<p>○俳句に用いられた季語や表現を敏感に感じ取り、それを考察し的確に鑑賞文を書いている。 （書く能力） （行動の観察）</p> <p>○他の人の俳句作品の鑑賞文を読み、交流する中で句に詠まれた情景や心情描写について意見を述べたり助言をしたりしている。 （書く能力） （記述の確認）</p>